



# ニュースレター



NPO 法人大阪環境カウンセラー協会

第 22 号

Oct. 2006

*Osaka Environmental Counselors Association, Nonprofit Organization*

## OECA会員の皆様へ「18年度上期を終了して」

OECA 会員の皆様には、お忙しい日々を過ごしておられることでしょう。毎年のことですが、期初には予算・編成・会計などの変更で、ざわざわしましたが、ようやく落ち着きを取りもどして来ました。

EA21 に関しては、昨年につき、自治体イニシャティブ・プログラムは大阪市・堺市・吹田市・富田林市・枚方市・河南町・南河内六商工会が参加を決められ、又、関連企業グリーン化プログラムのモデル事業についても、大阪ガス様、アスクル様が参加され（その半数を地域事務局大阪が担当します。）昨年比にかなりの増加が見込める状況です。

エコアクション21 地域事務局大阪の「エコアクション21 普及定例講座」、事業部門の「内部監査員養成講座」も着実に根を張りつつあります。EA21 事務局の事務員も増員し、OECA、EA21 の事務処理のため毎日1名は出勤するようになっています。

一方、EA21 の認証登録数は9月末で96件（事務局大阪扱い99件）となり、地域事務局のトップになりました。

大阪市様の「なにわエコ会議」・環境調査隊の活動も積極化し、地球温暖化防止・環境実験教室は小学校から高校まで範囲が広がってきました。ポリテク（近畿職業能力開発大学校）の講師派遣も引き続き、新規の3R部門の活動も始まりました。

11月には、多くの機関の共催・後援、講師の皆様のご協力を得て、セミナー「地球温暖化対策と CDM」を開催する運びとなりました。また、今年環境カウンセラー研修のお世話役を環境省近畿事務所から受託しました。多数の参加をお願いします。

理事長 高井 茂

(9月理事会：理事の皆さんと)



## なにわエコ会議事務局 活動報告

なにわエコ会議事務局では、今回イベント用の「のぼり旗」を新調し8月に南堀江公園で行われた「打ち水大作戦」で、デビューさせました。この「打ち水大作戦」は、大阪市や協力団体・企業・市民の参加を得て、地球温暖化防止、ヒートアイランド対策を広く市民にアピールする事が出来ました。

今後の大きな行事として12月17日(日)に、北区民センターでパートナーシップフェアを予定しております。今年も多くのOECA会員各位のお手伝いと参加をお願い致します。

昨年7月からOECA事務所で、「なにわエコ会議事務局」活動を行ってきましたが、今後は大阪市鶴見区の「生き生き地球館」に事務所を移転することになりました。現在、先方での電話新設工事中ですが、準備完了次第移転いたします。今までのご協力を感謝致します。

今後は、今までのように直接OECAの一部門としての職務ではなくなりますが、「環境に配慮した企業部会」の部会長としてOECAの宇田執行副理事長が勤め、EA21の大阪市イニシャティブへの取組などで活躍中です。今後も「なにわエコ会議」のエコパートナー会員としてOECAが積極的に協働していただけるように期待しております。



なにわエコ会議事務局 塚本 勝

## エコアクション21 地域事務局大阪の活動報告

17年4月にエコアクション21 地域事務局大阪を開設して1年半を迎えました、事業者の認証・登録件数も順調に伸びて来ており、中央事務局の認証・登録該当事業者が1千件を超えました。また、地域事務局大阪の認証・登録該当事業者も96件と約1割に達し、地域事務局(37団体)の中でトップランナーの位置を占めています。

さて、エコアクション21 地域事務局大阪で実施した今年度の中期までの業務は運営委員会を1回、判定委員会を6回実施しました。また、受付けた事業者の件数は60件で、その内訳は認証・登録済み事業者は29件、登録審査継続中事業者が6件、中間審査終了と中間審査継続中事業者が25件になりました。

地域事務局大阪で実施している、18年度「自治体イニシャティブ・プログラム」は17年度に引き続き大阪市、吹田市、富田林市の参加、新しく堺市、枚方市、河南町の参加で、計6自治体の申込みが有りました。また、参加事業者数は計41社となり、4ヶ所の開催場所で開催いたします。

尚、「自治体イニシャティブ・プログラム」は9月からスタートして、取組み説明会が各所で実施されます。

その他、企業がグループ単位で一斉に認証取得に取組むことが出来るエコアクション21「関連企業グリーン化・プログラム」を2企業グループに於いて実施中です。さらに、エコアクション21制度の普及促進を図る組織活動としまして、大阪環境カウンセラー協会内、事業部門でEA21導入チームの組織充実と地域事務局大阪のEA21普及委員会及び審査委員会を立ち上げました、そして各地で説明会、講習会、研修会を行い、さらなる普及促進を展開中です。

EA21 地域事務局大阪 北 潤明



## EA21 導入チーム・活動報告

エコアクション21、平成18年度自治体イニシャティブ・プログラムがスタートしました。

(財)地球環境戦略研究機関(IGES)エコアクション事務局は、エコアクション21認証登録制度の実施の一環として、自治体(市区町村)のイニシャティブ(指導、率先垂範)の下、多くの域内の参加事業者が一斉に取り組むことにより、地域全体の二酸化炭素等の排出削減、エネルギーコストの削減を実現し経営的にも効果が出ると同時に環境配慮への企業としての「証」が得られる仕組み作りを「自治体イニシャティブ・プログラム」として本年度も展開します。

当協会(EA21導入チーム)及びエコアクション21地域事務局大阪は17年度に引続き、18年度も地域及び参加企業を増やし、EA21の普及に努めてまいります。

各市の当協会リーダーは、大阪市:宇田、堺市:大畑、吹田市:松崎、富田林市:北、羽曳野市:落合の各氏で、メンバーは各市4名以上で構成され講師として対応します。

EA21 導入チーム チームリーダー 大畑 明



## 事業部門・活動案内

本年度から事業部門を担当しています。引き続きよろしくお願ひします。

事業部門では、主に事業者に対する支援活動を行っています。

具体的には、

- ・ 環境マネジメント（経営）システム（EA21、ISO）の普及・支援（説明会、集合研修、従業員教育、内部監査員研修、構築・改善コンサルティング等）
- ・ 環境対策支援（様々なニーズに基づく支援活動）
- ・ 受託事業（自治体などからの事業受託）

これらに伴う、環境に関連した多様なニーズに即応できるように、ニーズ別に専門家リストを作成し、ホームページ（HP）などで紹介したいと思います。

OECAのHPの事業部門のところに登録用紙を掲載しておきますので、皆さまの積極的な登録をお願いします。今後、事業者団体へOECAの専門家の活用を呼びかけてゆきたいと思ひます。

事業部門長 宇田吉明

## 環境教育部会 活動報告

### OECA 会員への協力お願い

平成18年度後期の予定は、以下の通りです。

メールでもお願いしておりますが、実験教室の日程が決まりましたので、ご都合の付く会員各位のご協力をお願いします。OECA 事務所までご連絡ください。

また11月29日は環境カウンセラーの方々には既にご案内の通り、環境カウンセラーの研修会が行われます。今年度は環境省近畿地方事務所とOECAが協働

して企画、運営をしています。つきましては当日の受付、資料配布、会場運営、にOECA会員3名を募集します。日当、交通費は環境省基準で支給します。

### 実験教室実施予定（地球環境センター受託事業）

No.	実施年月日	実施先
1	10月10日	大阪市立扇町高校
2	10月26日	大阪市立鶴町小学校
3	10月27日	大阪市立築港小学校
4	11月7日	大阪市立天下茶屋小学校
5	12月1日	大阪市立東都島小学校
6	12月4日	大阪市立鶴見小学校
7	12月6日	大阪市立湯里小学校
8	1月16日	大阪市立佃南小学校
9	1月23日	大阪市立春日出小学校
10	2月14日	大阪市立阿倍野小学校



6月18日 生き生き地球館 エコ縁日



8月28日 集まれ舞洲2006(大阪都市協会)

### その他

- |   |        |                               |
|---|--------|-------------------------------|
| 1 | 10月2日  | 島根県地球温暖化防止活動協議会               |
| 2 | 11月9日  | 富田林高校 環境授業                    |
| 3 | 11月9日  | セミナー「地球温暖化対策とCDM」OECA他（産業創造館） |
| 4 | 11月29日 | 「成18年度セラール研修」環境省（アピオ大阪）       |

環境教育部会 部門長 阪野 喬

## 協働による市民提言 (大阪のまちをどないしたいねん！！)

大阪市市民環境調査隊  
総合アドバイザー 飯田哲也

平成 16 年度からスタートした「大阪市市民環境調査隊」、OECA ニュースレターでの紹介も今回で、3 回目になりご存知の方も多いでしょう。

本事業は、大阪市が環境基本計画の着実な進行管理を行うために、大阪市環境施策の成果・実績を点検・評価し、取組や行動を継続的に改善する PDCA サイクルの Check (点検・評価) の段階で、施策評価に市民意見を反映し、環境関連施策の継続的な改善を試みることを目的として OECA に委託された事業です。

これまで「協働とはなにかいな」「16、17 年度の活動成果の報告」を掲載させて頂きましたが、今回は事業 3 年目を向えて「協働による市民提言の原点？」を紹介したいと思います。

本事業は大阪市、NPO、市民、学識経験者が協働して、市民意見を大阪市環境施策への提言としてまとめる仕組みづくり及びその改善と構築された仕組みの効果的な活用がキーワードとなっています。

さて、市民意見を提言として反映させるためにはそれぞれの主体目標や考え方をお互いに理解し、協力する気持ちが必要で、且つ重要であることは以前ご紹介したとおりです。ここで、これまでの調査隊事業経験より各主体の考え方を要約すると次のようになるのではと思っています。

- ・大阪市：大阪市環境基本計画に従い環境施策を実行し、市民の安全で安心なまちづくりをしたい。そのためには環境施策の実行に際して市民意見を取り入れていきたい。
- ・NPO：大阪市と市民の中間的な立場で環境施策の啓発や大阪市と市民の通訳的役割を果たしたい。
- ・市民：自己の住む地域や生活の中で、又は市民活動や自己研鑽の中での問題点や改善点を大阪市施策に反映させたい。
- ・学識経験者：環境施策のあり方、最先端環境技術の可能性など理想の将来像を目標に研究し、各主体にアドバイスする。

今年度の大阪市市民環境調査隊第二回全体会議(7月22日)にアドバイザーとして出席された野邑教授(大阪市立大学大学院教授)は「学識経験者は理想の状態を目標に研究している。現状と理想のギャップを埋めるのが研究である。しかし、理想の状態にするためには時間もかかるし資金もいるので、どのレベルを目標として設定するかが重要となる。皆さんの提言はどのレベルの状態を目標にした提言とするのかを考えてみてほしい。難しい話に聞こえるが、要するに今、自分の住むまち大阪をどのようにしたいかをそれぞれの立場で考えればよい。」とコメントされました。このコメントの中ではいろいろな例を挙げて説明されましたが紙面の都合でご紹介できないのが残念です。

私はこの3年間、協働をテーマにした活動にかかわり、さまざまなことを試行錯誤してきましたが、このコメントにより「協働の原点」を見たような気がしました。各主体それぞれの目標や考え方は異なりますが「大阪のまちをどないしたいねん」ということについては共通のテーマであって、大阪は「どないしたいねん」、市民は「どないしたいねん」という思いが原点ではと……。しかし、この「どないしたいねん」の内容をうまく説明できなかつたり、お互い相手に納得されなかつたりするのが現状です。

我々は協働の仕組みや手法にこだわりすぎて、大事なことを忘れていたように思います。

調査隊協働提言の原点は「大阪のまちをどないしたいねん」という当たり前の発想を共有することではないかと改めて痛感しました。

環境施策を効果的・効率的に実行するためには一主体では解決できない問題が多数あり、協働による施策の展開が必要不可欠になってきています。大阪市市民環境調査隊活動は協働の仕組みや意義を数多く提供してくれた事業です。調査隊事業メンバーの経験が他の協働活動にも生かせることができれば幸いです。



コメントされる  
野邑教授



全体会議風景

## 自然環境部門の活動報告

自然環境部門では水棲生物観察出前講座を、狭山第三中学校にて6月28日と7月5日に実施しました、担当講師は富平純さんで、福田もサブとしてお手伝いしました。

始めは気持ち悪そうに水棲生物を覗いていた生徒たちも時間が経つに連れて興味を持ちだした様で、熱心に川で採集したゴミと生物を分別し、様々な水棲生物の発見に歓声をあげていました。

今後の予定は本年度最重要行事「障害を持つ方のための自然観察会」を11月5日（予備日12日）に予定しています。

現在、羽曳野市社会福祉協議会及び身体障害者福祉協議会の代表者と協議を進めている最中で、場所は羽曳野市役所障害者用トイレの近い誉田八幡宮を予定しています。全国的に例を見ない企画ですので、手探り状況ですが、自然環境部門の総力を挙げて取り組みたいと考えています。

11月28日には河内長野市公園緑化協会依頼の「ゴミの堆肥化」講演を外部講師登用で行なう予定となっています。「内部研修観察会」は最重要行事が一段落してから、追ってご連絡しますので、ご参加よろしくをお願いします。

自然環境部門長 福田 裕



## TOPICS



4月に発足した新規事業「廃棄物3R推進部会」主催で、9月30日「廃棄物の再生・処理施設の実務研修」を開催した。

目的は、循環型社会形成の基本は発生する廃棄物の3Rの促進です。E A21で環境への取組みを目指す廃棄物処理業者にも再資源化が強く求められています。E A21のコンサルや審査人を対象としたこれらの処理業者への適切なアドバイス、審査を実施するための廃棄物処理・再生施設の実務研修でした。

・研修内容：

1. 株式会社コートク 社長 宮村隆喜 氏  
「欠格要件と発生したときの対応方法」
2. 本社工場と第2工場の見学
3. 各種設備、使用薬品から「特定すべき関連法規」  
(2グループに分かれて、デスクッションし、関連法規の特定・発表会)

参加者の感想は、

「生々しい現状を聞いて・見て、大変参考になった。」  
「内容の濃い研修であったこと」  
「医療廃棄物処理方法が良く解かった」  
「4日間の収集運搬・処理工程研修では解らないことがよく解かった」など等、好評でした。  
コートクさん、スタッフの皆様ありがとうございました。

(廃棄物3R推進部会：落合 修)





## 地域の活動報告（東大阪市）

東大阪市社会福祉協議会より、定期的に開催している、「市民福祉講座」のテーマに「環境問題」を採り上げたいということで、環境教育部門が受託し、

8/21：講演「傷ついていく地球・犯人は誰」

8/28：講演「私たちの街の環境活動」

事例紹介と体験「廃油でキャンドル」

をテーマに環境問題の講演、東大阪での環境活動・事例紹介廃油を利用してのキャンドル作りの体験コーナーを地域の環境に関心を持たれている方々に、松浦陽子会員及び東大阪水辺再生会議の皆さんのご協力で実施できた。

また、8/28には同協議会主催の「夏休み親子環境教室」が開催され、ゲストスピーカーで環境問題を紹介させて頂いた。  
(環境教育部門 中島延雄)



### OECAスタッフ紹介

中国・内モンゴル大草原で生まれた私は、2001年4月、留学のため成田空港に1人ぼっちで着きました。日本人の顔を見て、外国に来たという感じはしませんが、話し方がなんて早口なんだろうと驚き、自分の語学力を試そうと必死に耳を傾けて聴きました。又、物価の高いのに驚いたことを覚えています。それからもう6年経過しました。

大阪外国語大学に進学し、関西で生活が始まりました。そして日本人の友達には「私はもう関西人やで」、「関西弁が好きやねん」、「関西の食べ物が大好きや」と言えるようになりました。理事長は小学校1・2年生のときハイラル小学校に通っていたそうです。私はそのハイラルで生まれた娘です。そのような関係で、今年の5月から理事長の勧めで、協会の事務の仕事を手伝っています。総合事務や環境調査隊の会計などをしています。どうぞよろしくお願いいたします。日本のNPOでの仕事を経験し、中国に帰ったら、環境関係のNPOで経験を生かす事ができればと思っています。(斎 伊敏)



環境調査隊 舞州にて

今年4月より事務所のスタッフとして、週2回程度OECA事務所へでている、森田です。OECAに入会したのは平成16年で、昨年、旧美原町の環境フェアへ参加させてもらったのがきっかけで、秋頃からの大阪市内の小学校での地球温暖化実験教室や、環境フェアに参加しました。その後、事務局員公募の話があり、応募しました。いままでは、現地工事、プラントの運転管理等の現業所での仕事ばかりで、事務所での仕事は初めての経験なので、不行き届きな点があるとおもいますが、よろしくお願いいたします。(森田 毅)



OECA事務所にて

**編集後記：**1996年にISO 14001が発行され、今年で10周年を迎えることとなり、認証登録件数も2万件を超えている。このように環境マネジメントシステムの普及はされてきた一方で、認証登録が目的のようなシステムが、見受けられるようになった。

システムの構築ではマニュアル作りが先行し、『既存の環境マネジメントシステムをもたない組織は、最初にレビューを行って、環境に関する組織の現状を把握 (establish) するとよい。～ (ISO 14001 A.1)』が、置き去りにされている感がある。例えば、サイトマップはアクセス・マップ化していたり、敷地を示す地図のようなケースがある。

運用面に於いては、事業展開が早いためか、システムが後追いとなり、システムが業務にリンクした展開が出来ていないケースが出てきている。これではマネジメントシステムから益々、乖離し、別のシステムが出来てしまうことになる。

パフォーマンスに於いては、RoHS 対応等の改善活動、再資源化、地域とのコミュニケーション等、実際には活動しているプラスの側面が、システムから見えずに、いわゆる「紙、ゴミ、電気」しか見えてこないケース等がある。

従って、審査員、コンサルタント等の関係者は『この規格の全体的なねらいは、社会経済的ニーズとバランスをとりながら環境保全及び汚染の予防を支えることである。(ISO 14001 序文)』を再認識し、現状の問題点を見据えながら、認証登録の形骸化を防止したい。

(2006/10/01 中島)

発行者：NPO 法人 大阪環境カウンセラー協会  
住 所：〒552-0021 大阪市港区築港2-8-24  
piaNPO 411号

TEL:06-6599-0600 FAX:06-6599-0607 e-mail: info@osaka-eca.org http://www.osaka-eca.org/

発行人：高井 茂  
編 集：中島延雄

